

第117回 豊田まちと交通勉強会 (2021/12/15)

「クルマのまち」ならでの 歩行者優先施策を考える

～歩行者事故の削減を目指して～

〔概要〕

歩行者と自動車の交通事故は、歩行者が死亡あるいは重傷となるリスクが高い事故です。豊田市では歩行者事故を減らそうと「歩行者保護モデルカー活動」とまってくれてありがとう運動」などのソフト的対策と併せて「ぴかっとわたるくん」や横断歩道前後のカラー舗装など、ハード対策にも取り組んでいます。歩行者事故を減らすためには、どんな対策が効果的なのでしょうか。歩行者事故の実態を見ながら、さらなる交通安全対策の展開に向けて、みなさんと議論したいと思います。

(公財) 豊田都市交通研究所 主幹研究員 山崎基浩

TTRI での「歩行者優先」研究の背景と経緯

- 致死率の高い「人対車両」事故の抑止をめざし、豊田市では平成28年度から『歩行者保護モデルカー活動』に取り組んでいる
- 令和2年10月末現在61事業所に委嘱し活動展開



平成28, 29年度 Webアンケート

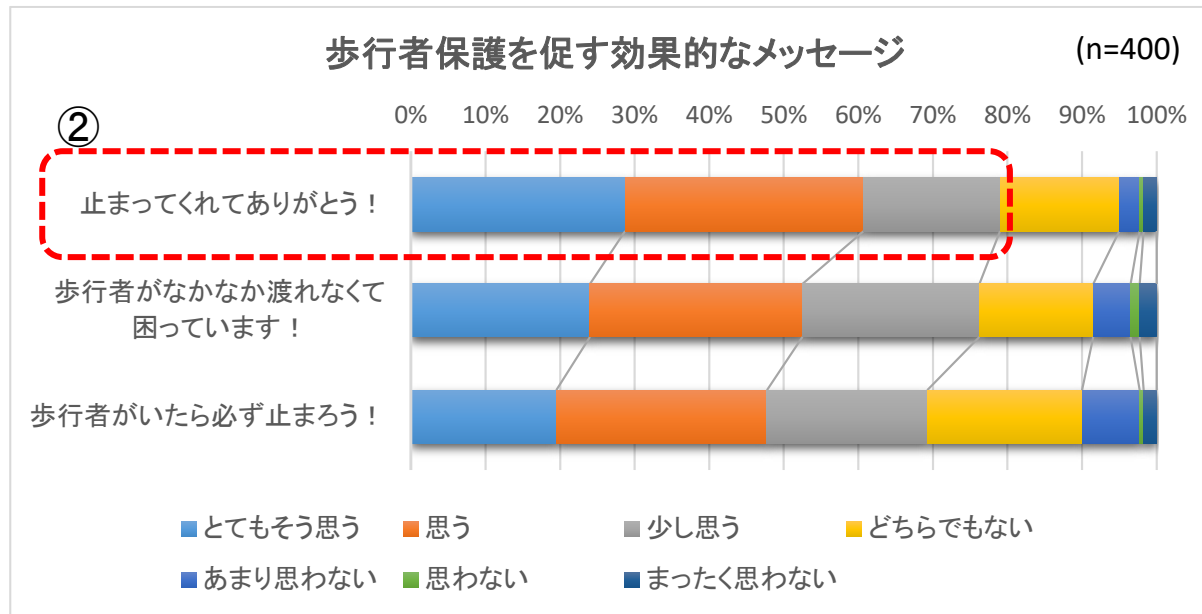
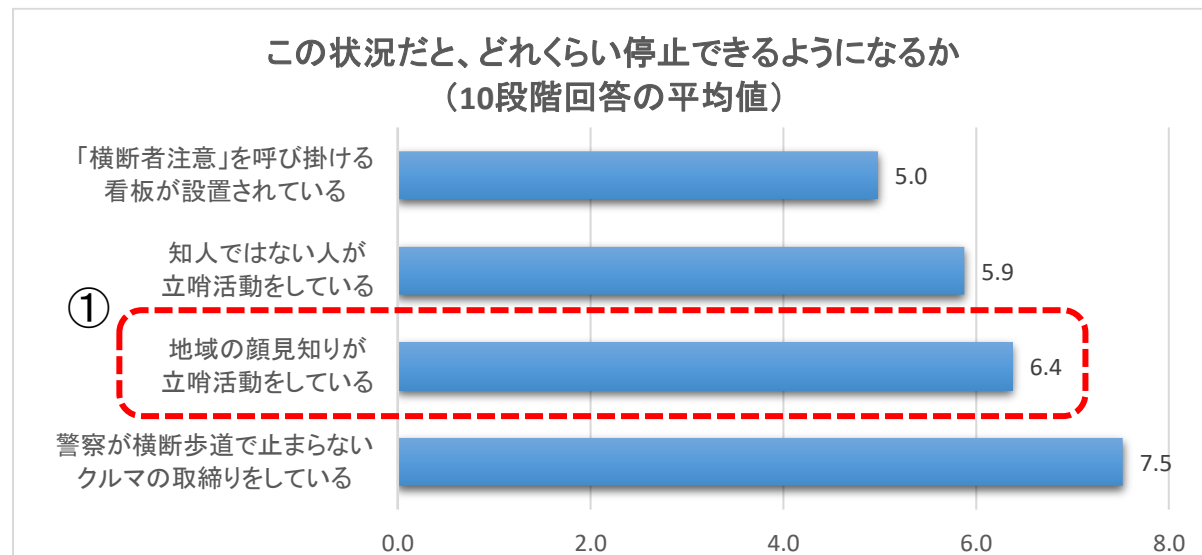
- 啓発により認知度は高まっており、活動を認知している人ほど横断歩道での停止（歩行者優先）を意識している
- 周囲の「目」が行動に影響
⇒ 地域の「顔見知り」による街頭啓発が効果的である可能性を示唆
- 掲示するメッセージは止まってくれた人に「ありがとう」が効果的である可能性を示唆 ⇒ 市長が興味を示し政策展開（ありがとう運動）
- 歩行者としての経験が運転行動に反映される
- 歩行者の存在を気づかせる仕組み（ハード整備を含む）も必要

平成30年度 能動的立哨実験

- 通常の街頭啓発活動よりも「能動的」な街頭啓発活動の方が、実施時の歩行者優先率が高まる（ただし統計的に有意な差は認められない）

過年度の研究で 得られた知見

- ① 地域の顔見知りによる立哨活動が効果的である可能性を示唆
- ② 歩行者保護を促すメッセージは「ありがとう」が効果的である可能性を示唆



交通安全立哨活動(街頭活動)とは？

りっしょう〔-セウ〕【立哨】

[名](スル)兵などが、一定の場所に立って警戒・監視の任に当たること。

また、その兵。

出典: デジタル大辞泉(小学館)

【全国交通安全運動】

- 昭和23年に「全国交通安全週間」(12月10日～12月16日)が、国家地方警察本部(警察庁の前身)決定による全国交通安全週間実施要綱に基づき実施された。
- 昭和27年から春季・秋季の年2回開催となる。
- 現在、交通対策本部決定の推進要綱に基づき1府9省主催で春・秋の計10日間実施(春は原則として4月6日から、秋は9月21日から)。
- 愛知県などの交通安全協会では、夏・冬(年末)にも設定。

豊田市の交通安全市民運動

- 豊田市交通安全市民会議主催。第10次豊田市交通安全計画に掲げた交通事故削減目標「2020年までに死傷者数1,700人以下に」を目指し、家庭・地域・学校・職場それぞれ交通安全に取り組む。
- 年4回、10日間設定。各期「全市一斉街頭活動の日」が定められ、街頭での交通安全立哨活動が展開されている。
(約400団体18,000人が参加し市内約500箇所で行われる)



(写真出典: 豊田市交通安全市民会議ホームページ)

2 時
itai.ne.jp

東田自治区のシンボルマーク



6月のハローホール利用者数：1,053名

ひがしだ
ハロー！東田 平成30(2018)年8月号

ハロー！東田

東田自治区だより
第329号
平成30年8月発行
編集：広報委員会
(毎月1日発行)

防犯パトロールを実施

安全部

7月21日(土)の夜、参加者57名で「夏の一言防犯パトロール」を実施しました。参加者は7班に分かれて自治区全域をパトロール。各班はエリア長をリーダーに、のぼりと誘導灯を持ち、時折みんなで「ただ今防犯パトロール巡回中です」の声を出しながら歩き、防犯灯が正常に点灯しているかのチェックや、横断歩道などで新たに防犯灯が必要な場所、高さのあるブロッコリーのチェックなどを行いました。



夏の交通安全市民運動

安全部

夏の交通安全市民運動が始まった7月11日(水)、全市一斉に街頭での交通安全立哨活動が実施されました。愛知県は今年も交通事故死全国ワースト1となっており、7月19日現在で昨年より3人多い103人の尊い命が失われています。そのうちの6割が65歳以上の高齢者。ハンドルを握るときは気を引き締めて、自分が事故の加害者になりうる可能性があることを意識して、安全運転を心がけてください！



みんなよくがんばったね！

フットサル大会

6月30日(土)、土橋小学校で竜神地区フットサル大会が開催され、東田A子ども会から3チーム、B子ども会から3チームの合わせて6チームが出場しました。暑い中、全力で戦う姿に大声援が送られました。残念ながら今年は南部大会に勝ち進んだチームはありませんでしたが、参加した選手からは「悔しいけど一杯やりきった」との声。指導したコーチからも「最後まであきらめない姿に感動した」との声が聞かれました。



夏休み勉強会&工作教室

東田子ども塾

7月21日(土)と28日(土)の日曜日を除く7日間、東田子ども塾による「夏休み勉強会&工作教室」が今年も開かれました。この行事は豊田市内でも珍しいもので、注目を集めています。初日の21日は勉強会に39名、工作教室に4名会に参加



東田 心風

夏祭りの季節になり、盆踊りの音楽や土東田自治区でも「東田ふれあい盆踊り大会」がありますが、暑い中、今年も小学生の「本」けてくれます。盆踊りには無くてはならぬ日本の太鼓の総称。祭礼・歌舞伎・能・いられる他、今日では健康法としても和ているとのこと。和太鼓は人間の心臓のることによって自らを鼓舞。暑い立たけス発散にもなり、リズムに合わせて膝や上下させて打つという身体の動きは、まトする全身運動。心身の健康に役立ついありません！

太鼓は縄文時代には情報伝達の手段に利用されており、人類の歴史的にもるのです。だから、この鼓動に親しるのでしょうね。暑い日が続いていまり大会に参加するみなさんも、太鼓連んも、無理をせず十分に水分を補給し夏の夜のひと時を楽しみましょう。(あ

猛暑・豪雨に注意！

今年の夏も、猛暑が続いています。市がくなくなるという痛ましい出来事がありいや顔のほてりは熱中症のサイン。筋肉吐き気を感じた時には、もう熱中症の症す。こまめな水分と塩分の補給、十分ななという「決断」も必要。応急処置のボ、体を冷やす」また、西日本をし。豊田市が作ると、東田自治区ア等は浸水地域とお気をつけくださ



夏、子供の「とびひ」

子どもを持つ親にとって心配事は絶え海で遊びたくもなりますが、食中毒、熱田子の笑顔を見るほどに親は気を引き締めそんな夏のトラブルのひとつ「とびひ」では肌の接触で、いつの間にか子供がかかぬうちに外の子にうつっていたーなん夏季休暇で早急な処置に困る場合もありていたら後回しにせずに対応しまし

竜神地区老人会合同で小

交通安全立哨活動による啓発効果の検証

- 横断歩道での歩行者優先(停止)行動を促すために、例えば「交通安全市民運動」期間中などの立哨活動を活かして効果的な啓発はできないか？
- 無信号横断歩道で「歩行者優先」「止まってくれてありがとう」等のプレートを表示しながら「能動的な」立哨活動を試行する実験を実施。
- 通行車両の歩行者優先行動(停止状況)を観測。事前・事後の状況比較により、効果を検証する。

市民・企業等により実施されている立哨

- 交通安全市民運動期間中などに実施。
「交通安全」「シートベルト」「守ろうルール」などのプレートを持って歩道に立ち並び、通行車両ドライバーに安全運転を訴える。



「能動的な」立哨の効果を検証する

- 横断歩道での停止等、歩行者優先行動に対しての謝意をプレートで提示。
- 立ち並ぶだけではなく、ドライバーとのアイ・コンタクトを積極的に。



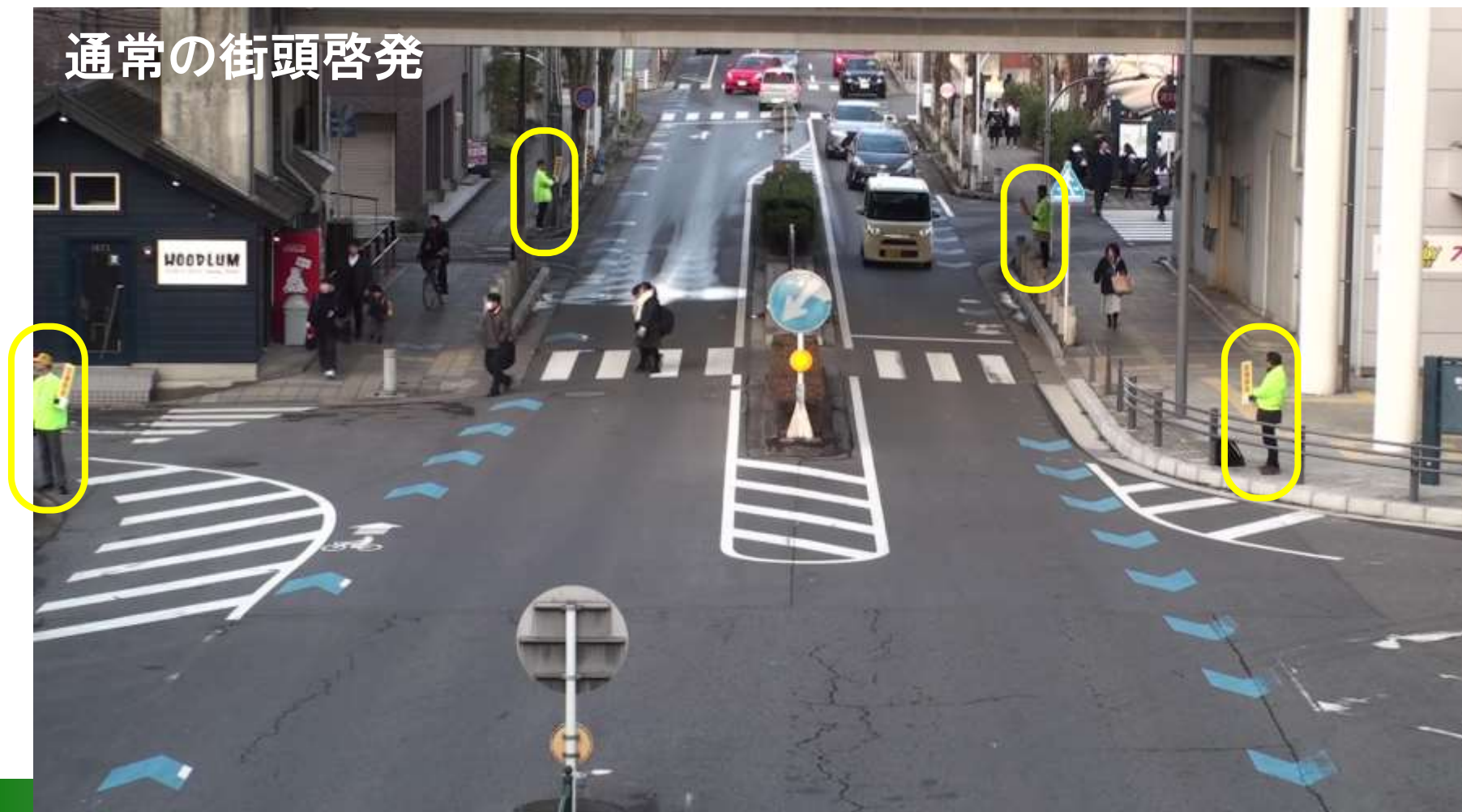
H30年度の「能動的啓発活動」実証実験

○対象時間帯 7:30～8:30 の交通量（2月12日、13日の平均）

■自動車（二輪車含む） 西進↑：75台/h 東進↓：334台/h

■横断者（自転車含む） 北進→：113人/h 南進←：124人/h

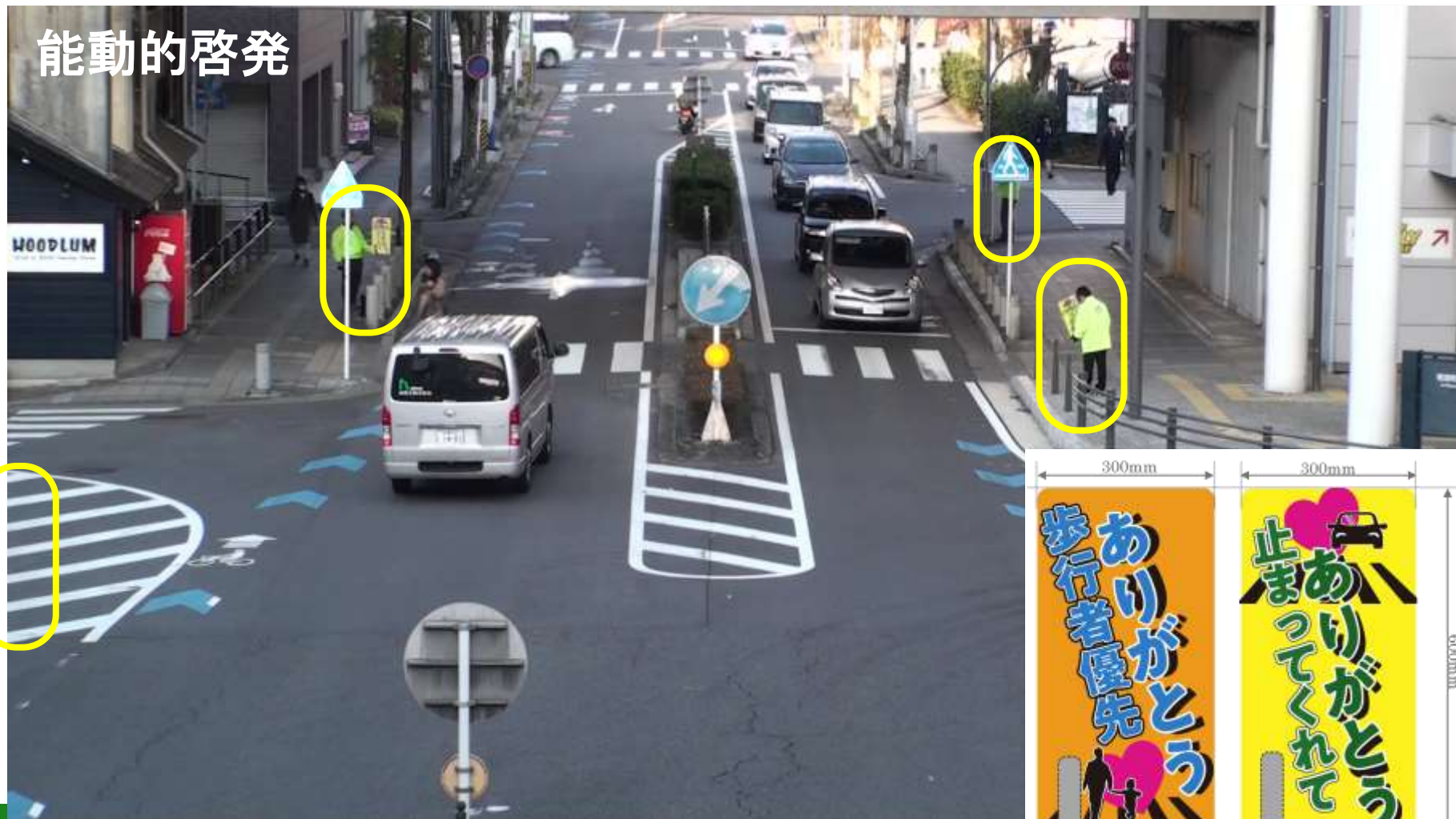
通常の街頭啓発



H30年度の「能動的啓発活動」実証実験

○「能動的啓発」時は横断歩道直近に立ち、積極的にプレートを表示しながら歩行者優先行動をしたドライバーに会釈等で謝意を伝える

能動的啓発



H30年度の「能動的啓発活動」実証実験

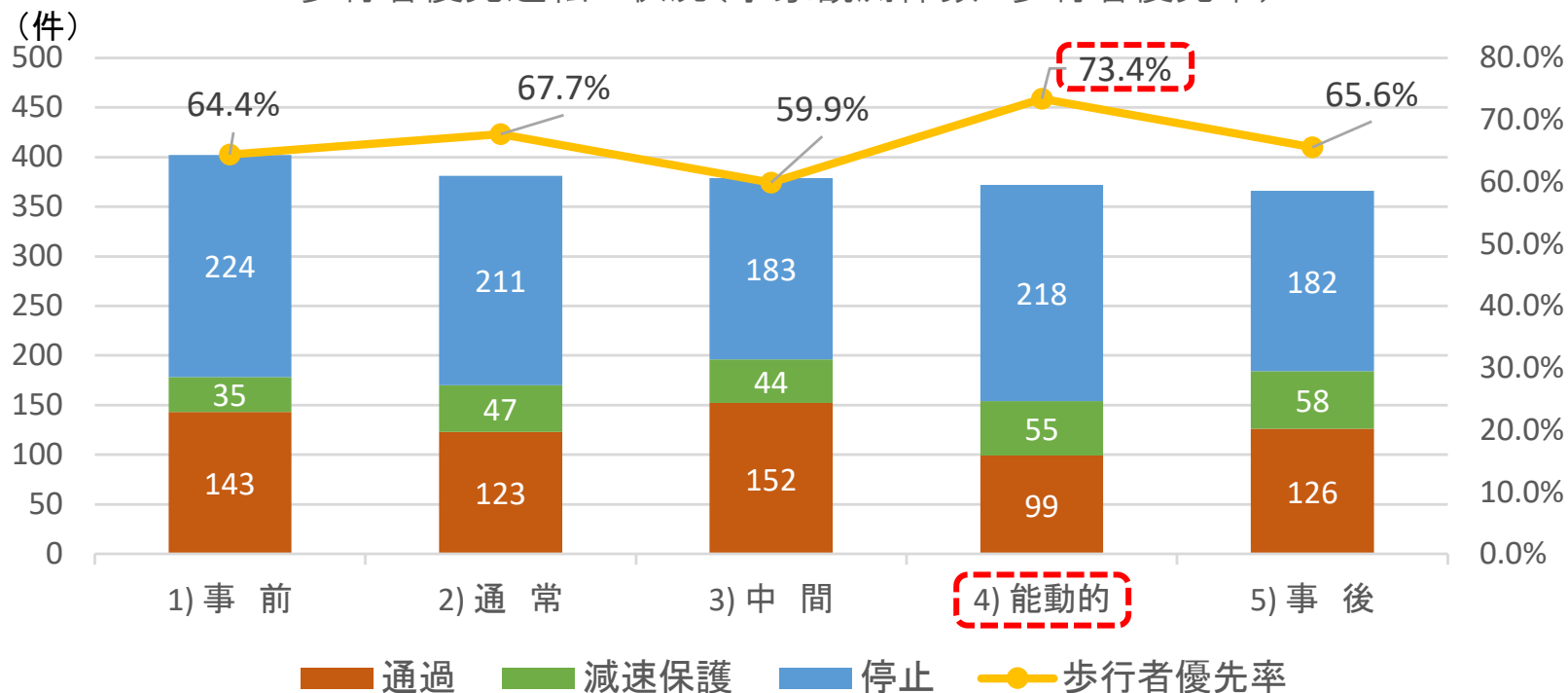
○啓発活動実施時に歩行者優先率は向上する

通常時9日間の合計(通過421件、歩行者優先726件、歩行者優先率63.3%)と啓発実施時6日間の合計(通過222件、歩行者優先531件、歩行者優先率70.5%)との間には、1%有意水準で統計的に有意な差($P=0.0014$, Yatesの補正によるP値)が認められた

○「能動的啓発活動」実施時は、最も高い歩行者優先率となった(73.4%)

○事後調査では低下しているが、事前・中間よりもわずかに高い(65.6%)

歩行者優先運転の状況(事象観測件数と歩行者優先率)



豊田市の施策展開

みんなで笑顔、感謝の気持ちを伝える
「とまってくれてありがとう運動」をしよう!



「とまってくれてありがとう運動」とは、

みんなが安全に横断歩道を渡ることができるように、運転手さんが、
止まって待ってくれたら、**ありがとうの感謝の気持ち**を伝える活動です。

つまり、
いつもの安全な横断歩道の渡り方 **プラス** 「ありがとう(笑顔でお礼)」



ありがとう

プラス

Thank you

みんなが笑顔で「ありがとう」を伝えることで、
運転手さんもうれしい気持ちになり、ますます安全に
運転しようと思うんだって。



シグナルちゃん

人から感謝されたり、優しくされたら、何かお返ししてあげたく
なる気持ちってあるよね。
ありがとうを伝える行動が、運転手さんの気持ちを変え、やがては
この地域の交通安全の輪を拡げることにつながるってわけだね。

車に児童「止まってくれてありがとう」



一時停止してくれたドライバーに会釈し、足
早に横断歩道を渡る児童＝豊田市田中町で

豊田・小清水、美山小「横断歩道の日」あいさつ運動
県警が定める「横断歩道の日」の十一
日、豊田市逢妻地区にある小清水、美山の
両小学校で、児童が「とまってくれてあり
がとう運動」を下校時に実践した。

(久野賢太郎)

市交通安全防犯課の担当
者は「本来は一時停止が義

一・四年生が集団下校し
た美山小では、児童の列に
地元有志でつくる「あい
づまもる隊」のメンバー
と豊田署員が付き添った。
信号のない横断歩道で自
動車が止まると、児童は口
々に「ありがとうございま
す」とあいさつ。手を挙げ
、会釈して足早に渡っ
た。
従来、児童には横断歩道
を渡る時に「止まる・見る
・待つ」を実践するよう指
導していた。運動ではこの
三項目に「感謝する」を加
え、止まってくれた車のド
ライバーに「ありがとう」
とあいさつするよう求めて
いる。運動は十月、市が豊
田署の協力を得て逢妻地区
をモデル地区として始め
た。

「きれいな四季
」



「ゴミ拾いをする中学生たち」

務のドライバーも気持ち
良く歩行者に譲ることがで
きる。定着を図り、全市に
広げていければ」と話し
た。

茶山園
アミタ
製造元

○本来は停止することが義務であるが、それをあたりまえのこととはせず、ドライ
バーに謝意を表する運動をモデル地区で実施⇒全市展開中

豊田市の施策展開



- 横断安全施設として「ぴかっとわたるくん」設置
- 下林町で先行設置し効果確認後、増設
- 十塚町には横断歩道を照らす装置の設置もしている
- 他にも無信号横断歩道の前後に「赤枠」を描き停車車両を排除することで視認性確保する対策も実施

点滅式の標識「ぴかっとわたるくん」を使い、横断する児童ら＝豊田市宮上町で

豊田市は八月から、信号機のない横断歩道で車に歩行者の横断を知らせる点滅式の標識「ぴかっとわたるくん」の追加設置を進めている。(小野開栄)

「ぴかっとわたるくん」追加設置

豊田市は八月から、信号機のない横断歩道で車に歩行者の横断を知らせる点滅式の標識「ぴかっとわたるくん」の追加設置を進めている。(小野開栄)

「ぴかっとわたるくん」は道路の左右両側にある支柱にオレンジのライトが付いている。横断する歩行者がスイッチに触れるとライトが点滅し、運転手に知らせる仕組みだ。

市は昨年、県内で初めてこの標識を導入し、同市下林町の横断歩道で効果の実証実験を行っていた。市交通安全防犯課によると、設置前は午前七時半～八時半は、四台に一台しか横断歩道手前で停車しなかったが、設置後は二台に一台が止まり、効果がみられたという。

本年度は交通量が多い道路を中心に市内四カ所への設置を計画。二十五日は、新たに設置した宮上町の市道で、下校する朝日小児童と住民らが市職員から標識

同課の担当者は「標識の効果は実証されているので、来年度以降も必要に応じて設置していきたい」と話した。

豊田市役所

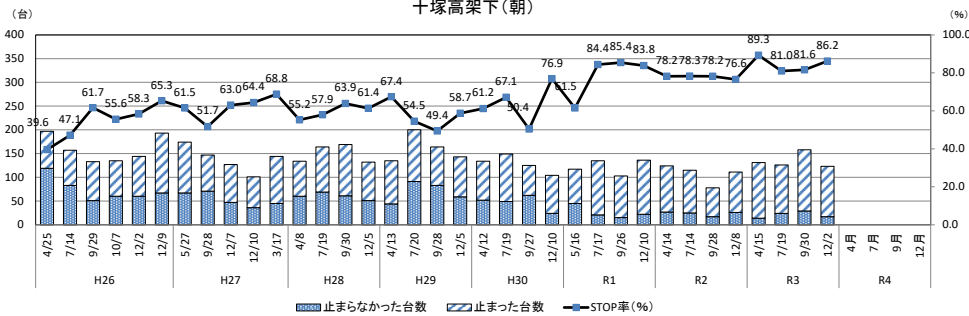
豊田市は九月から、市の窓口での手数料支払いに、ＩＱやクレジットカードなど、たキャッシュレス決済を導入。これまでは現金のみだった同課が初めて。

対象となるのは、住民票印鑑登録証明書など、課の付する全ての証明書の手数料シットカードや、交通系などの電子マネーのほか、ベ

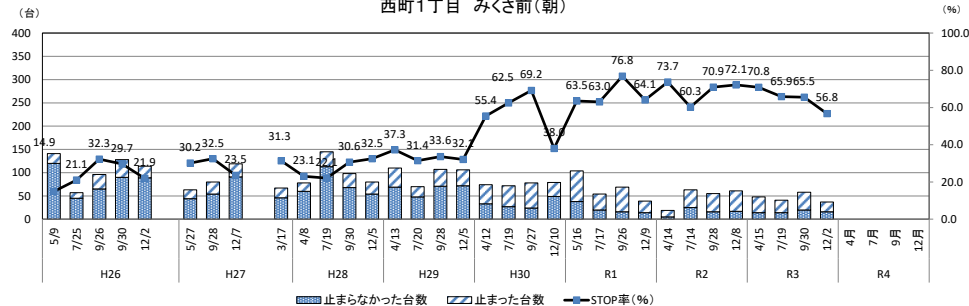
の使い方の説明を受けた。同小六年の寺田そらさん(こ)は「普段から使う道。車が止まってくれ、安全に渡れている」と語った。

豊田市役所

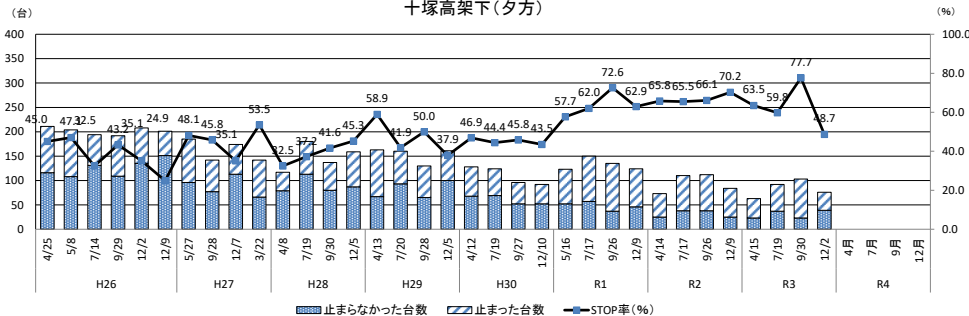
十塚高架下(朝)



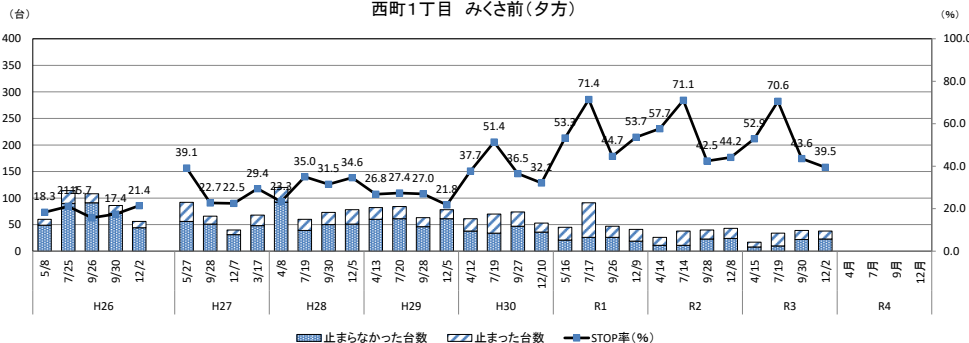
西町1丁目 みくさ前(朝)



十塚高架下(夕方)



西町1丁目 みくさ前(夕方)



歩行者優先意識は運転行動に現れた？ (時間はかかったが)

○豊田市交通安全防犯課では定期的に「STOP率調査(横断しようとする歩行者がいる時の交通量に対する停止車両の割合)」を実施

○STOP率は概ね向上傾向(現在、やや横ばい状態か)

朝：7:30～8:30

夕：17:00～18:00

十塚町(名鉄高架下)

西町(みくさ前)

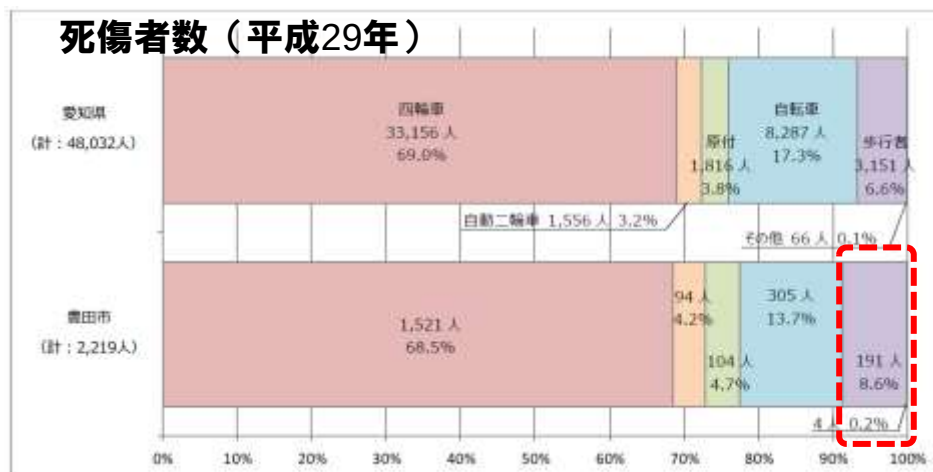


調査結果資料：豊田市交通安全防犯課提供

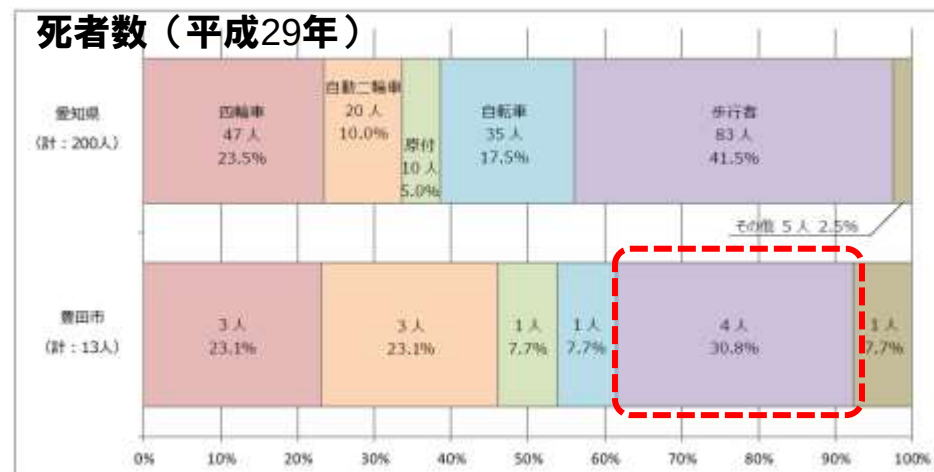
歩行者の事故は減ったのか？

○死傷者数は減少 愛知県:3,151→2,401人(76.1%) 豊田市:191→97人(50.8%)

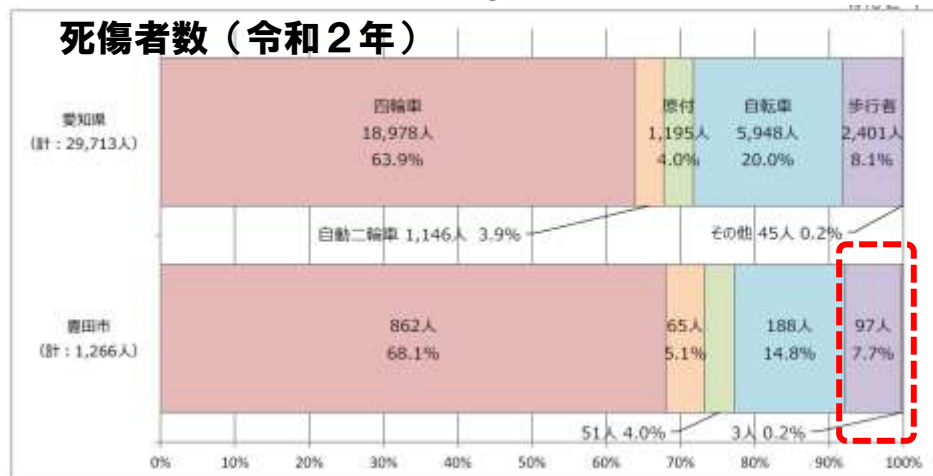
死傷者数（平成29年）



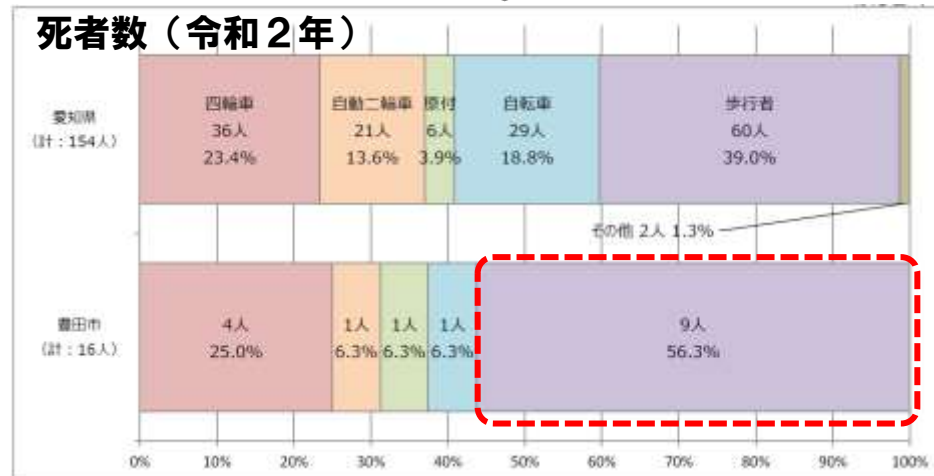
死者数（平成29年）



死傷者数（令和2年）



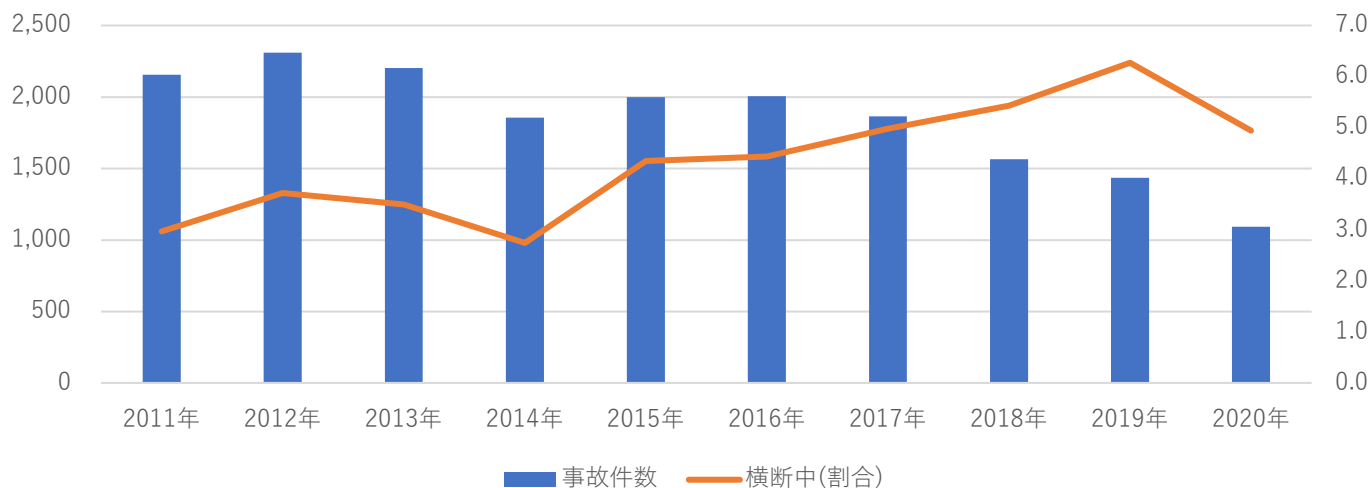
死者数（令和2年）



豊田市における横断中歩行者の交通事故

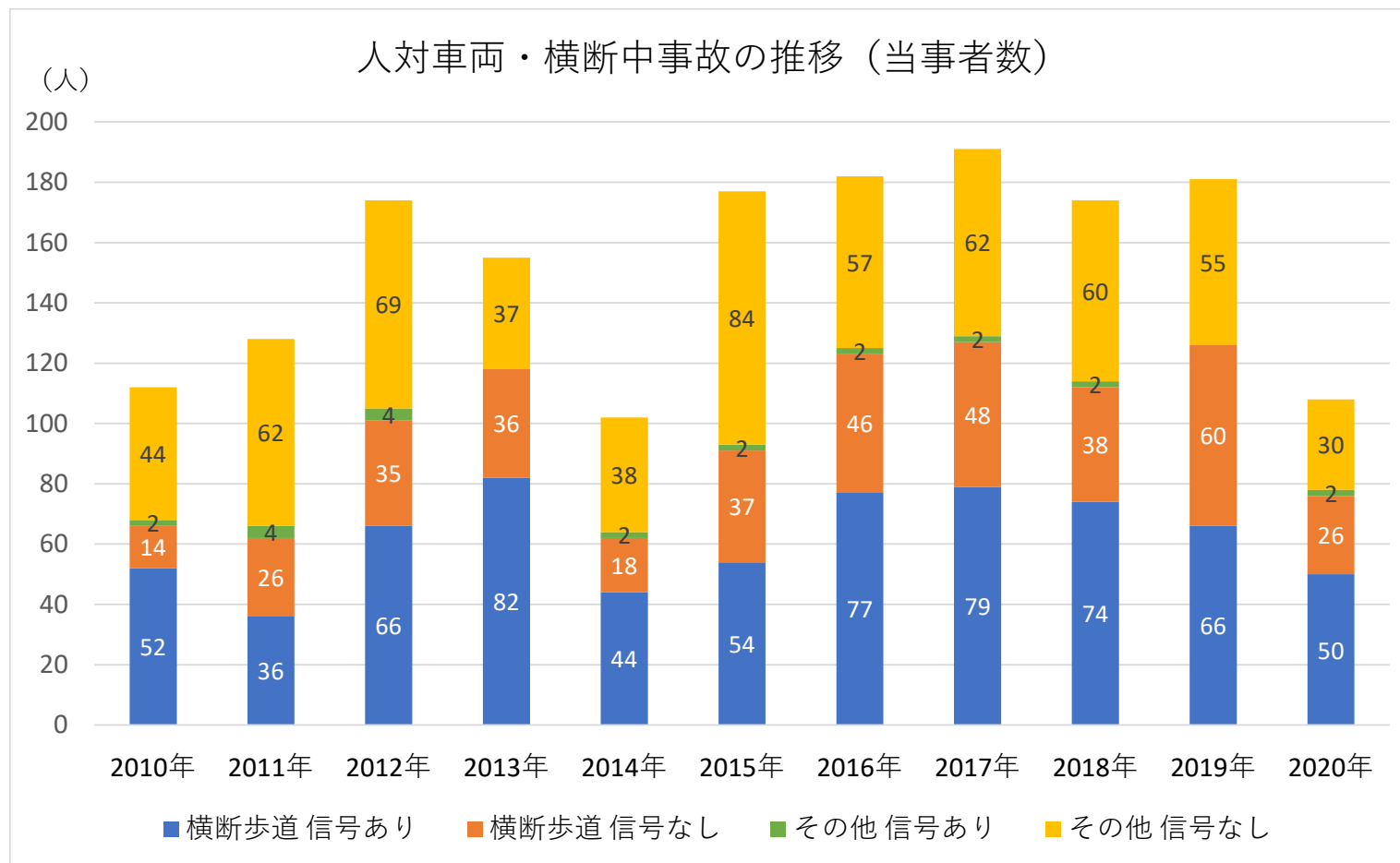
- 事故件数が減少する中で、2014～2019年は歩行者事故が増加、2019年以降減少
- 夕方から夜間(17～20時台)の発生件数が多い

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	総計
事故件数	2,156	2,311	2,202	1,857	2,000	2,006	1,866	1,565	1,435	1,093	18,491
横断歩道横断中	31	50	59	31	45	60	62	54	63	37	492
横断歩道付近・その他横断中	33	36	18	20	42	29	31	31	27	17	284
横断中割合(%)	2.97	3.72	3.50	2.75	4.35	4.44	4.98	5.43	6.27	4.94	4.20



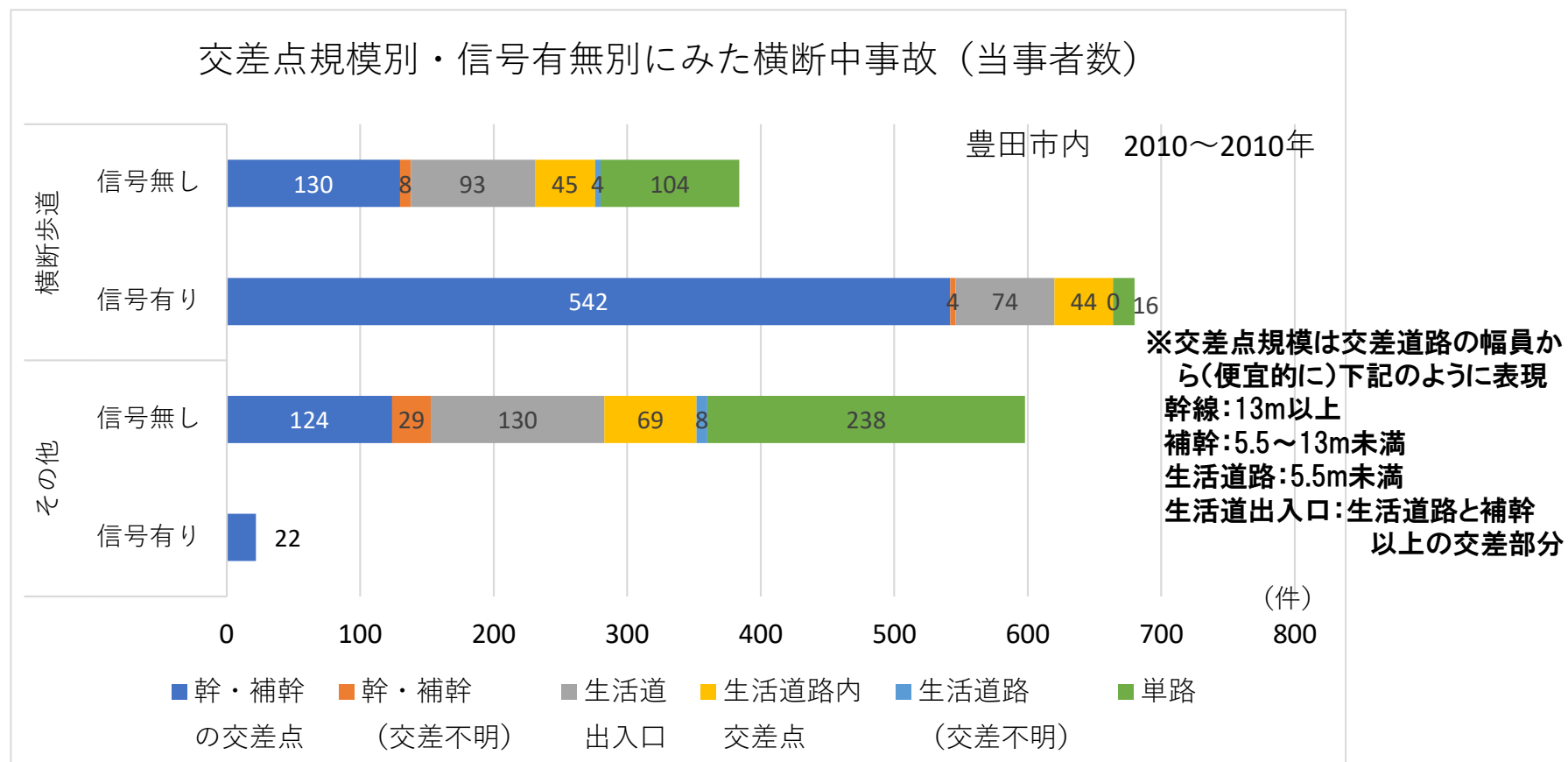
	0時台	1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	総計
2011年	2	0	0	0	0	1	2	5	4	6	4	1	1	3	3	7	5	6	4	4	2	2	2	0	64
2012年	2	1	0	1	0	1	3	2	2	1	5	4	5	5	2	7	7	10	6	3	7	4	5	3	86
2013年	0	2	0	1	1	4	4	2	3	3	4	0	3	0	3	5	6	7	7	4	8	5	2	3	77
2014年	0	0	0	1	0	0	4	3	5	1	1	2	2	2	1	2	5	6	7	3	2	3	0	1	51
2015年	1	0	0	1	0	1	3	6	3	2	4	7	5	2	1	1	5	12	13	4	5	4	4	3	87
2016年	0	0	0	0	2	1	2	4	2	5	1	3	2	5	3	6	5	8	8	12	11	2	2	5	89
2017年	0	1	1	0	1	2	4	5	7	7	5	4	2	4	5	0	2	9	11	6	7	6	3	1	93
2018年	0	2	1	1	1	3	2	4	5	4	2	1	4	3	4	1	3	9	6	9	6	9	2	3	85
2019年	1	0	0	1	0	1	3	3	5	2	5	4	5	4	2	4	3	10	10	10	11	4	2	0	90
2020年	0	2	0	0	0	4	4	2	4	3	5	2	0	2	3	1	1	1	6	4	5	2	3	0	54
平均	0.6	0.8	0.2	0.6	0.5	1.8	3.1	3.6	4	3.4	3.6	2.8	2.9	3	2.7	3.4	4.2	7.8	7.8	5.9	6.4	4.1	2.5	1.9	776

豊田市における横断中歩行者の交通事故 当事者数の推移



- 11年間の総計では、信号横断歩道が680人(40.4%)、無信号その他が598人(35.5%)、無信号横断歩道が384人(22.8%)、信号ありその他が22人(1.3%)
- 2020年は2015～2019年と比較して大幅減少(108人)。ただし最少は2014年(102人)

横断中歩行者の交通事故(交差点規模別)当事者数



- 比較的規模の大きい信号交差点での事故が最も多い
- 無信号の単路部での事故も目立っており、横断歩道以外での事故は横断歩道での事故の2倍以上発生している
- 生活道路出入口での事故も比較的多く発生している

横断中歩行者の交通事故 当事者数 集計表(研究企画委員会提示)

信号有無	信号施設無し												信号施設有り							総計
道路規模	幹・補幹 の交差点		幹・補幹 交差不明		生活道 出入口		生活道路 内交差点		生活道路 交差不明		単路		幹・補幹 の交差点		幹・補幹 交差不明	生活道 出入口	生活道路 内交差点	単路		
歩行者 横断場所	横断 歩道	その 他	横断 歩道	その 他	横断 歩道	その 他	横断 歩道	その 他	横断 歩道	その 他	横断 歩道	その 他	横断 歩道	その 他	横断 歩道	横断 歩道	横断 歩道	横断 歩道		
第1当事者	64	61	4	14	46	64	22	34	2	4	51	118	268	11	2	37	22	8		
車両	64	56	4	14	44	56	20	30	2	3	51	97	254	6	2	32	20	5		
歩行者		5				7		4		1		19	9	5		3	1	2		
不明					2	1	2					2	5			2	1	1		
第2当事者	64	61	4	14	46	64	22	34	2	4	51	118	268	11	2	37	22	8		
車両		5				7		4		1		19	9	5		3	1	2		
歩行者	64	56	4	14	46	57	22	30	2	3	51	99	259	6	2	34	21	6		
第3当事者	2	2		1	1	2	1	1			2	2	5							
車両				1																
歩行者	2	2			1	2	1	1			2	2	5							
第4当事者													1							
歩行者													1							
総総計	130	124	8	29	93	130	45	69	4	8	104	238	542	22	4	74	44	16		

- 横断歩道以外での横断中事故は歩行者が第1当事者となるケースも発生
- 【仮説として】無信号横断歩道での歩行者の横断ストレスが緩和されれば、横断歩道以外(その他)での横断事故の減少に寄与できるのではないかな？

人対車両の死亡事故の詳細（H28～R2年）

警察署	発生年月日	曜日	発生時間	路線	天候	路面状態	道路形状	信号機	事故類型	死者数	重傷者数	軽傷者数	車道幅員
1 豊田	20160112	火	20	豊田明智線	晴	舗装乾燥	中中交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号あり	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
2 豊田	20160214	日	18	419号	曇	舗装乾燥	中小交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号なし	その他横断中	1	0	0	5.5m以上
3 豊田	20160303	木	18	419号	晴	舗装乾燥	中中交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号あり	その他横断中	1	0	0	5.5m以上
4 豊田	20160309	水	5	花沢桑原線	曇	舗装乾燥	単路その他	信号なし	人対車両（その他）	1	0	0	5.5m以上
5 豊田	20161202	金	17	本地鴛鴨線	晴	舗装乾燥	中小交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号なし	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
6 足助	20160204	木	13	420号	晴	舗装乾燥	中中交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号あり	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
7 豊田	20170811	金	23	155号	晴	舗装乾燥	中大交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号あり	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
8 豊田	20171217	日	6	名古屋豊田線	雪	舗装乾燥	中中交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号あり	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
9 豊田	20170210	金	21	岡崎足助線	晴	舗装乾燥	小中交差点（1当が5.5m未満）	信号なし	人対車両（その他）	1	0	0	5.5m以上
10 豊田	20171023	月	5	岡崎足助線	曇	舗装乾燥	中中交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号なし	その他横断中	1	0	0	5.5m以上
11 豊田	20180127	土	17	名古屋豊田線	晴	舗装乾燥	中中交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号あり	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
12 豊田	20180205	月	21	419号	晴	舗装乾燥	中中交差点（1当が5.5m以上13.0m未満）	信号なし	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
13 豊田	20180321	水	23	419号	雨	舗装湿潤	中交差点付近（側端から30m以内）	信号なし	人対車両（その他）	1	0	0	5.5m以上
14 豊田	20180819	日	22	その他（広場等）	晴	舗装乾燥	その他広場等	信号なし	人対車両（その他）	1	0	0	その他広場等
15 豊田	20190512	日	21	419号	晴	舗装乾燥	小交差点付近（小○交差点の側端	信号なし	人その他	1	0	0	3.5m未満
16 豊田	20190724	水	19	その他市道	晴	舗装乾燥	中中交差点内（1当が5.5m以	信号なし	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
17 豊田	20190928	土	12	その他市道	曇	舗装乾燥	中小交差点内（1当が5.5m以	信号なし	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
18 豊田	20191012	土	17	則定豊田線	雨	舗装湿潤	単路その他	信号なし	その他横断中	1	0	0	13.0m以上
19 豊田	20200131	金	2	153号	晴	舗装乾燥	単路その他	信号なし	路上横臥	1	0	0	9.0m以上
20 豊田	20200224	月	1	153号	晴	舗装乾燥	大大交差点内（1当が13m以上	信号あり	横断歩道横断中	1	0	0	13.0m以上
21 豊田	20200320	金	0	その他市道	晴	舗装乾燥	中交差点付近（中○交差点の側端	信号なし	路上横臥	1	0	0	5.5m以上
22 豊田	20200501	金	17	その他市道	晴	舗装乾燥	単路その他	信号なし	背面通行中その他	1	0	0	9.0m以上
23 豊田	20200801	土	9	その他市道	晴	舗装乾燥	大交差点付近（大○交差点の側端	信号なし	路上作業中	1	0	0	13.0m以上
24 豊田	20200929	火	22	豊田安城線	晴	舗装乾燥	単路その他	信号なし	その他横断中	1	0	0	13.0m以上
25 豊田	20201007	水	19	その他市道	雨	舗装湿潤	単路その他	信号なし	横断歩道横断中	1	0	0	5.5m以上
26 豊田	20201117	火	5	豊田安城線	晴	舗装乾燥	大小交差点内（1当が13m以上	信号なし	その他横断中	1	0	0	13.0m以上
27 豊田	20201129	日	8	則定豊田線	晴	舗装乾燥	中中交差点内（1当が5.5m以	信号あり	横断歩道付近横断中	1	0	0	5.5m以上

● 27件中 信号交差点8件 無信号交差点12件 無信号単路6件 他1件

TTRI で現在取組んでいる研究

豊田市の取組み

- 「とまってくれてありがとう運動」と称し特定地域において啓発活動をスタートし、現在全市展開中
- ぴかっとわたるくん設置（ハード対策）
- TMC社員・家族へ展開し「チラシ」「路側掲示」「事業所内横断歩道での啓発」に取り組んでいる
- 子ども向けの啓発ツール展開

問題意識

- 一連の政策を評価し、より効果的な手法を見出したい
- 「とよたの交通安全政策」のブランディングによる啓発効果に期待

本年度の研究

- 豊田市の歩行者優先施策の効果を検証するとともに課題を整理
- より効果的に地域住民の歩行者優先意識向上を図る啓発活動を提言

地域比較と一般化に向けた研究

- 川本（福井大）・寺内（国士舘大）と共同で「歩行者が最優先される道路横断歩行環境の構築（科研基盤C）」をR1～4年度に実施中
- 歩行者意識・ドライバー意識の両面から、またハード・ソフト両施策から歩行者が最優先される道路横断歩行環境を構築
- 福井、東京、豊田の横断環境実態を把握しながら、地域間比較
- R3年度（2年目）は3地域の公道での詳細な調査を予定

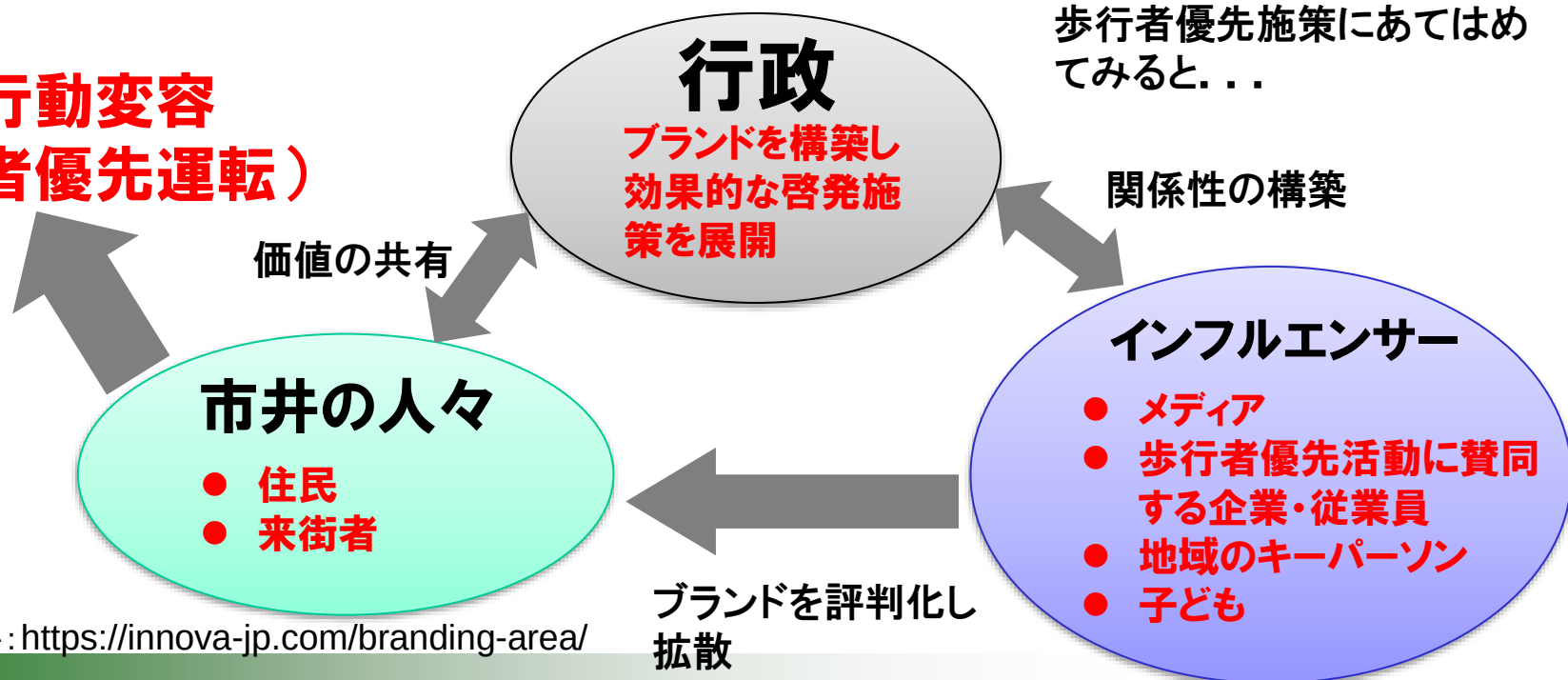
土木計画における「ブランディング」

例えば、交通需要マネジメントの実施には効果的なコミュニケーション技法が不可欠であるが、それらを軽視したと思われる事例も散見される。一方、土木計画学において、デザインやブランディング手法によってコミュニケーションを円滑に図る事例も見られている。一例を挙げると、モビリティマネジメントの分野では、単純に情報提供だけでなく、デザインを工夫したり、ブランディング展開を通じて、人々の感性に働きかけて行動変容を促す事例がある。本セッションでは、全国のこのような事例を幅広くご発表いただき、デザイン・ブランディング、コミュニケーションの視点から今後の土木計画学全般について議論できる場を提供したい。

第62回土木計画学研究発表会
「デザイン・ブランディングと土木計画」セッション・オーガナイザー
(氏原岳人)の趣旨説明

地域ブランディングの概念にあてはめる

**態度・行動変容
(歩行者優先運転)**



参考資料: <https://innova-jp.com/branding-area/>

交通分野の「ブランディング」成功例

小山市「おーバス」利用促進のブランディング検討

- 補助金獲得を機に「ブランディング」「デザイン」を重視した利用促進プロジェクト始動
- 市職員(担当者)+コンサルタントで検討 ⇒ ブランディングに対する知識不足から、安易にロゴとキャッチフレーズを作ることを重視 ⇒ 難航

- 検討体制を修正 ⇒ 市職員(担当者・責任者)+コンサルタント+学識者+クリエイティブディレクター+デザイナー
- 現状認識の共有(データ・現地視察)
- 基本姿勢の確認: 今あるものを活かしながら「おーバスが変わる」ことを市民に伝える
- 市民に伝える手段: タブロイド紙の企画
- ブランドコアメッセージ: 市職員から集めた多数のキャッチコピーを元にメンバーで検討し、クリエイティブディレクターが作成
- 大胆な構造的方略と併せた展開: 7割引全線定期券「noroca」販売(同チームでデザイン検討)

2007 年	民間路線バス撤退
2008 年	おーバス運行開始(市内全体を循環)
2010 年	おーバス現在の運行体系へ (駅を中心放射状路線+デマンドバス)
2018 年 5 月 8 月	プロジェクト始動 地方創生推進交付金採択
2019 年 2 月 3 月	バスロケーションシステム導入 新規路線(渡良瀬ライン)開業
5 月	<u>ブランディング検討開始</u> 第 1 回検討会 キックオフミーディング
6 月	第 2 回検討会 ブランドコアメッセージ、noroca 名称検討
7 月	第 3 回検討会 noroca デザイン、Bloom! 名称、1 号企画検討
9 月	第 4 回検討会 Bloom! 1 号のデザイン・記事検討
10 月	第 5 回検討会 Bloom! 2 号の企画検討 <u>noroca 使用開始</u> <u>Bloom! 第 1 号 配布</u> : 6 万部配布
11 月	第 6 回検討会 Bloom! 2 号のデザイン・記事検討
12 月	第 7 回検討会 Bloom! 2 号のデザイン・記事検討
2020 年 2 月	<u>Bloom! 第 2 号 配布</u> : 6 万部配布 市内高校 4 校 : ビラ 4 千部配布 市内企業事業所: Bloom! 2 千部配布 第 8 回検討会 Bloom! 3 号の企画検討
3 月	第 9 回検討会(web) Bloom! 3 号のデザイン・記事検討
4 月	新規路線(ハーヴェストウォーク線)開業
5 月	<u>Bloom! 第 3 号 配布</u> : 6 万部配布

【出典】浅見ほか: 全市民対象バス利用促進モビリティ・マネジメントにおけるブランディングとデザイン, 第62回土木計画学研究発表会講演集

土木計画における「ナラティブ・アプローチ」

- 川端祐一郎，藤井聡：コミュニケーション形式としての物語に関する研究の系譜と公共政策におけるその活用可能性，土木学会論文集D3，Vol.70，No.5，I_123-I_142，2014.

物語形式の情報を活用することによって，物事への理解が促進され，将来への想像力が強化され，他者理解が進み，固定観念から自由になることができると考えられる．公共政策の場面においては，政策コミュニケーション，将来ビジョンの策定，コミュニティの連帯の強化，イデオロギーの相対化といった面で，物語型情報が活用できる可能性がある．

- 川端，高橋，宮川，藤井：「物語化」された情報の提示が公共政策に関する態度に及ぼす影響の研究，土木学会論文集D3（土木計画学），Vol.74，No.4，287-305，2018.

高知県黒潮町の津波対策事業に関する「物語性の強いシナリオ」と「弱いシナリオ」を用意し，両者が読み手に与える効果を比較する実験を行った．その結果，強く物語化されたシナリオはより大きな態度変容を引き起こすことが示された．また，情報の物語化手順を明確化したことで，物語型コミュニケーションの実践利用の技法に関し，具体性のある示唆が得られた．

物語化し伝えることの有効性

1. シナリオ A (物語性強シナリオ)

地震対策への「あきらめ」

黒潮町は、高知県の西部に位置する人口約 1 万 2000 人の海沿いの町である。町は太平洋に面しており、90～150 年周期で発生する南海地震によって、大きな津波被害を受けてきた歴史がある。南海地震は、今後 30 年以内に 90%程度の確率で発生すると予想されており、大規模な被害が懸念されている。

2011 年 3 月 11 日、東北地方を中心とする東日本大震災が発生した。報道される津波被害のあまりの大きさに、遠く離れた黒潮町の人々も、人ごととは思えず大きなショックを受けた。

それから 20 日後の 3 月 31 日、今度は政府の中央防災会議が、南海地震についての被害予想を発表。最大震度は 7、最短 2 分で到達する黒潮町の津波の高さは、街のほとんど全てを押し流す「最大 34.4m」と予想された。この報道を受けた黒潮町では、「南海地震が来たら、助かるわけがない」というあきらめの声が瞬く間に広がったという。

大西町長の決意

黒潮町の大西勝也町長は、前年に 39 歳の若さで就任した気鋭の政治家である。彼もまた、他のすべての町民と同様に、中央防災会議の発表を知った途端に絶望的な心持ちとなったという。

発表があった 3 月 31 日は土曜日で、日曜日には町へ取材が殺到。翌月曜日は、新年度の仕事始めである。町長は「リーダ

2. シナリオ B (物語性弱シナリオ)

防災の取り組みが進む黒潮町

黒潮町は、高知県の西部に位置する人口約 1 万 2000 人の海沿いの町である。町長は 2010 年に 39 歳の若さで当選した気鋭の政治家、大西勝也氏が務めている。

町は太平洋に面しており、90～150 年周期で発生する南海地震によって、大きな津波被害を受けてきた歴史がある。南海地震は、今後 30 年以内に 90%程度の確率で発生すると予想されており、大規模な被害が懸念されている。

2011 年 3 月 11 日、東北地方を中心とする東日本大震災が発生した。報道される津波被害のあまりの大きさに、遠く離れた黒潮町の人々も、人ごととは思えず大きなショックを受けた。

3 月 31 日、政府の中央防災会議が、南海地震についての被害予想を発表。最大震度は 7、最短 2 分で到達する黒潮町の津波の高さは、街のほとんど全てを押し流す「最大 34.4m」と予想された。この報道を受けた黒潮町では、「南海地震が来たら、助かるわけがない」「地震が来ても逃げない」というあきらめの声が瞬く間に広がった。町へは、県外からの取材も殺到した。

しかし今の黒潮町では、「諦めるのは恥ずかしい」という状況である。町内にほとんどあきらめの声はない。役場主導の防災の取り組みが進むのと同時に、自主的に防災組織を結成して地域の避難路確保に励む住民も現れ始めている。学校や保育所など教育現場でも、震災に関する教育や避難訓練などの取り組

【出典】川端ほか:「物語化」された情報の提示が公共政策に関する態度に及ぼす影響の研究, 土木学会論文集D3, Vol.74, No.4, 2018

- 高知県黒潮町の津波対策事業を例に「物語性」の強いシナリオと弱いシナリオを設定
- Web調査でシナリオ読了前後での防災関心、事業の必要性、許容税率等を質問
- 物語性の強いシナリオが態度行動変容を強く促すという仮説が支持された

何をやろうとしているのか（何がしたいのか）

- ①豊田市の「交通まちづくり(特に歩行者優先運転とエコ交通)ブランド」を構築するためのキーワードを抽出し「背景と成功」の物語を作成(関係者WS等で検討)

現状の把握

- 歩行者対車両事故の実態把握
- 事故データの整理
- 特に死亡・重傷事故の特徴把握と実際の現場状況を踏まえた詳細分析
- 道路環境も含めた事故の発生原因考察

方向性の検討

- 事故の現状分析から、対象とする場面、目指すべき姿、などを想定
- 対象とする場面に対しての「仮説」を整理
- 仮説に基づく具体的な対策(ハード含む)の体系整理

キーワードと物語整理

- 左記の基礎資料に基づき「キーワード」を整理し「物語」を記し、関係者(市・トヨタ等)にヒアリング
- 市民向けのアンケート調査を作成

- ②豊田市民を対象とした意識アンケート調査により、啓発運動の効果を検証
(Web調査または組織を通じての紙面調査, 他市との比較調査も検討)
- ③ブランディングのためのキーワードと物語を複数案提示(ナラティブ・アプローチ)し、それらの受容性・有効性を検証する

ブランディングに関するキーワードのヒント

■研究所内外のさまざまな意見

- 豊田市のブランド力をどう活かしていくか検討せよ
- 発信の仕方、外部目線で考える
- スノーピークが豊田市(鞍ヶ池)を選んだことをPR(理由は?)
- 燃料電池バス(3台)が「フツー」に路線運行している事実
- 豊田スタジアム、香嵐溪、四季桜、レクサスを作っている豊田市
- ブランド力を定住促進に活かす
- 田舎のデメリットは雇用、教育、健康面と言われるが、豊田市には足助のようにすべて揃った「暮らしやすい田舎」がある
- 「歩行者にやさしいクルマのまち」に止まらず「交通まちづくり」のブランド化したとえば ⇒ 「(日本一)人と環境にやさしいクルマのまち」
 - 「横断歩道で止まるドライバーの比率日本一」
 - 「都心へ乗り入れる車の乗車効率日本一」
 - 「ハイブリッド車利用率日本一」
 - 「運転支援システム設置率日本一」
 - 「配電可能な自動車の割合日本一」
 - 「10km制限道路延長日本一」

ブランディングに向けたキーワード整理のイメージ

基本コンセプト (めざすもの)	● 豊田市の「交通まちづくり」において「交通安全（特に歩行者優先意識）」の行動規範をブランディングし、意識啓発によって交通行動変容を促す ● 在住者・在勤者が「豊田市民（市内従業者）としての誇り」を持ち、来訪者は（特に交通安全面において）「この街で運転するときは気が抜けない」と感じさせる ● 豊田らしいさを表現できる「言葉（キャッチフレーズ）」と「視覚的デザイン（ロゴマーク等）」で交通安全（歩行者優先運転）意識向上に寄与
--------------------	--

分野	こ と	モノ・施設	場所	人
歴 史	・ 松平家（徳川家）発祥の地 ・ 中山道の脇街道：中馬街道（塩の道）、飯田街道 ・ 挙母藩から挙母町、市制施行 ・ トヨタ自動車誘致、豊田市へ ・ 市町村合併市域拡大で「日本の縮図（海は無い）」に	・	・ 松平郷・松平東照宮 ・ 国道 153 号・足助市街地	・ 松平親氏 ・ 豊田喜一郎 ・ 中村寿一
自然 土木	・ 香嵐渓は愛知県内有数の紅葉名所 ・ 一級河川の矢作川 ・ 治水（枝下用水・明治用水） ・ 利水（矢作ダム・羽布ダム）	・	・ 香嵐渓（足助） ・ 矢作川・枝下用水・明治用水 ・ 豊田大橋（黒川紀章デザイン） ・ 矢作ダム・羽布ダム	・
文化 娯楽	・ 挙母まつり ・ 猿投神社「棒の手」 ・ 小原「子ども歌舞伎」「和紙」	・ 挙母まつりの山車 ・ 小原和紙 ・ 図書館 ・ 能楽堂、コンサートホール ・ 豊田市美術館	・ 挙母神社 ・ 猿投神社 ・ 小原和紙の里 ・ 鞍ヶ池公園	・ 藤井達吉 ・ 笑劇派
スポーツ	・ 一流のアスリートが多数（出身者・組織に所属） ・ 名古屋グランパスエイトのホーム ・ ラグビーWC 開催	・ 豊田スタジアム	・ 中京大学体育学部	・ 室伏広治・羽根田卓也・宇野昌磨 ・ 浅田真央・安藤美姫・紀平梨花 ・ トヨタソフトボール部 ・ ヴェルブリッツ・姫野和樹
産 業	・ 言わずと知れた自動車製造業「トヨタ」の街 ・ 意外と農業も盛ん	・ 自動車（クラウン、レクサス） ・ 梨、桃、茶 ・ 豊田市近代の産業とくらし発見館	・ トヨタに関連する場所（本社地区、トヨタ会館、トヨタ鞍ヶ池記念館）	・ 豊田章男（モリゾー）
交 通	・ 交通モデル都市としての実証実験 ・ 駐車場案内システム導入の先進地 ・ FCV バスが「フツーに」路線バスとして運行されている ・ 地方都市としては意外と充実した公共交通（鉄道 3 路線 25 駅、基幹バス 14 路線＋地域バス） ・ 充実した幹線道路網	・ 名鉄、愛環、おいでんバス ・ 燃料電池バス ・ Ha:mo Ride（超小型電気自動車） ・ 8 放射 2 環状 3 名古屋連絡 ・ 7 つの高速道路 IC	・ 東海環状自動車道、猿投トンネル	・
自 治	・ 地域自治制度の早期確立（地域会議、コミュニティ、自治区） ・ 盛んな地域自治（法人化された自治区の例） ・ トヨタ OB の結束力を活かした自治活動	・ コミュニティの交流館・支所 ・ 自治区の区民会館	・	・
政 策	・ 中核都市である ・ つながる実証、低炭素社会 ・ まちづくりや先進技術に関するモデル事業 ・ 包括支援事業など福祉に関するモデル事業 ・ 公共交通に関する基本計画をいち早く策定 ・ 交通研究に関する専門的研究機関を有する ・ 都心環境計画、中心市街地活性化、立地適性化計画	・ 豊田市駅 ・ 参合館、コモスクエア、KiTaRa	・ 中心市街地 ・ 地域核	・ TCCM ・ CSW